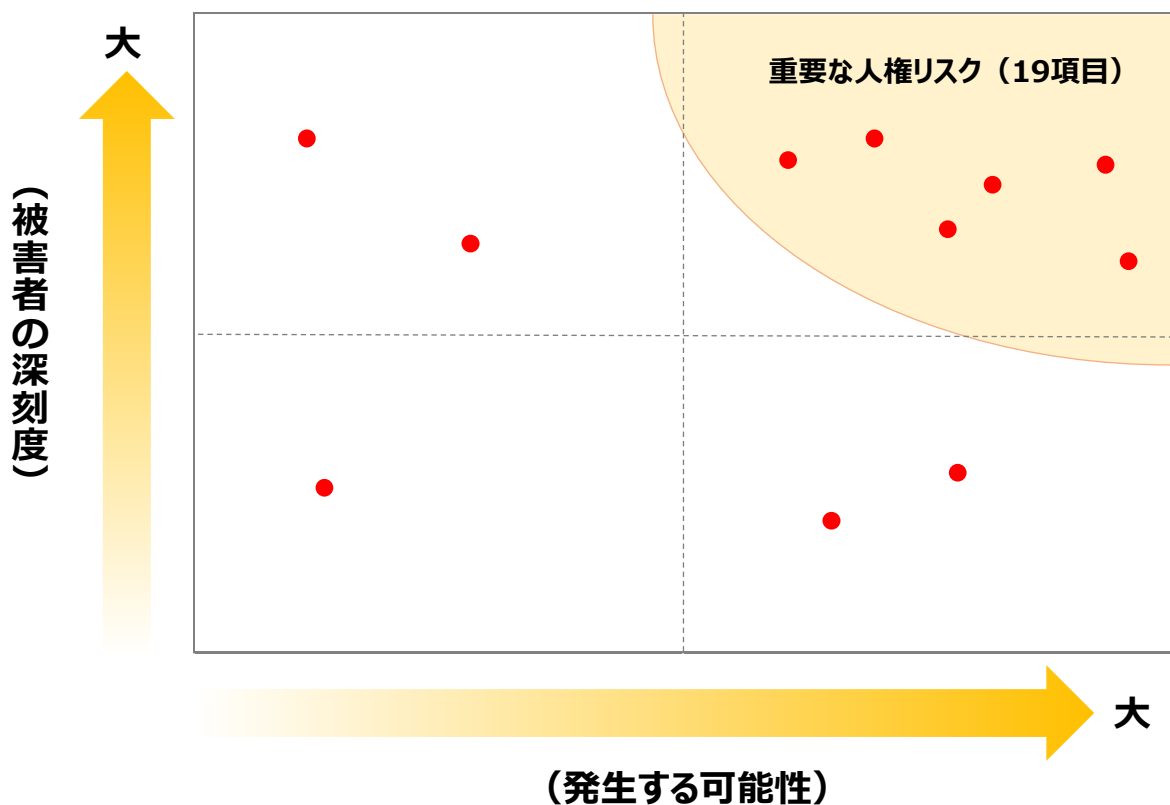


「被害者の深刻度」と「発生する可能性」をそれぞれ5段階で評価し、人権リスク・マトリックスを作成し、当社の事業活動における「重要な人権リスク」を特定しました。

人権リスク・マトリックス



重要な人権リスク (19項目)

- ・ 賃金の不足・未払、生活賃金
- ・ 同一労働、同一賃金の尊重
- ・ 過剰・不当な労働時間
- ・ 労働安全衛生（健康管理を含む）
- ・ 公正な採用・評価を受ける権利
- ・ 全てのハラスメント
- ・ 強制的な労働
- ・ 結社の自由、団体交渉権の尊重
- ・ 外国人労働者の権利
- ・ 児童労働
- ・ プライバシーの保護、個人情報の保護
- ・ 消費者の安全と知る権利
- ・ 人権に配慮した店舗運営
- ・ 差別的な広告表現
- ・ 倫理に反するマーケティング
- ・ あらゆる差別の禁止
- ・ ジェンダーに関する人権問題
- ・ 先住民族・地域住民の権利
- ・ サプライチェーン上の人権問題